

12月29日  
月曜日

発行所  
山陰中央新報社  
〒690-8668  
松江市殿町383  
電話 総合案内  
0852(32)3440

ホームページ  
<http://www.sanin-chuo.co.jp/>  
購読お申し込み  
☎ 0120-49-2550  
受付時間：午前9時30分～午後5時30分  
(日曜、祝日、年末年始除く)

# 見直し

## の影響試算

廃止も含めて見  
生産調整をやめる  
検討を早急にする

## 指す

高齢化や耕作放棄地  
で「農業の持続可能  
な」原因の一つに  
「整がある」と認識  
「この」と説明。  
「を設けず議論を行

う」と述べた。  
減反を廃止する場合、農  
家の所得を維持する有効な  
代替策を打ち出せるかどう  
かが焦点となる。

コメの生産調整は、米価  
維持のため作付面積を抑制  
する政策で、コメの生産量  
が消費量を上回った一九七  
〇年代から実施。二〇〇七  
年度から生産者が自主的に  
減反を行う方式を導入した  
が、コメの価格が下がった  
ため、〇八年度から国など  
の関与を強化していた。

# 業界トップに

## いおい同和

おい損保とニッセイ  
保が、三井住友の持  
社の傘下に入ること

業界の勢力図を塗り替  
える強力な損保が誕生す

## 抗インフルエンザ作用あり

島根県保健環境科学研究所  
(松江市西浜佐陀町)と同県  
農業技術センター(出雲市芦  
渡町)の研究者が、既に特許  
認定された出雲ソバに続き、  
県産のワサビとヤマモモに  
も、インフルエンザウイルス  
の感染や増殖の抑制作用があ  
ることを突き止め、相次いで  
学会誌に論文発表した。地域  
資源に光を当てて成果とし  
て、注目を集めている。

ワサビの作用は、同研究所  
の持田恭主席研究員(57)と、  
同センターの小川哲郎専門研  
究員(41)が共同で研究した。

抗菌作用は以前から知られ  
ていたが、葉、茎、根、根茎  
の各部位に、インフルエンザ  
ウイルスを防ぐのに有効な成  
分が含まれていることを初め  
て実証。論文は、英国の化学  
工学会が発行する学会誌に  
「新たな知見」として掲載さ  
れた。

効果はAソ連型やA香港  
型、B型といったウイルスの  
型に関係なく表れ、特に夏場  
の葉は増殖抑制率が高いとい

## 出雲ソバに続き証明

う。  
ワサビは主に県西部で栽培  
されているが、夏葉は硬いた  
めに商品価値がなく、年間数  
十が廃棄されているのが実  
態。うがい薬やマスクなど、  
感染予防品への応用が期待さ  
れている。

一方、ヤマモモの効用は、  
持田研究員が日本農芸化学会  
の審査を経て、同学会誌の十  
一月号に発表。同県多伎町な  
どでお茶にして飲まれる葉  
に、インフルエンザウイルス  
の高い増殖抑制率があること  
を明らかにした。

同研究員は「県民が自分た  
ちの住む地域に古くから健康  
的な植物があったと誇れるの  
ではないか」と、一連の研究  
成果の意義を話している。



ワサビを仕分けする生産者たち。イン  
フルエンザウイルスの感染、増殖の抑  
制作用が実証され、新たな活用策とし  
て期待を集める。島根県農業技術セン  
ター提供

## ヤマモモ

## ワサビ

がりしている。三社は統合  
で基盤強化を図り、関連会  
社などの統廃合や人員削減  
も進め、効率化を図るとみ  
られる。

三井住友海上は英国の  
保険大手アビバがアジア  
地域で展開する損害保険事

あいおい損保はトヨタ  
自動車や筆頭株主で、トヨタ  
の系列販売店を通じた自  
車保険の販売に強みがあ  
る。ニッセイ同和は生命保

険国内最大手の日本生命  
険が筆頭株主で、同社の

損保業界では保険金の不  
払い問題を避け、再発防止  
に向けたシステム投資が拡